

# ノンネマイマイ

春から初夏に針葉樹や広葉樹の葉を食べる毛虫（幼虫）。最大長約60mm。背中に青いコブが2列に並ぶ。過去にヨーロッパトウヒ林で多発した記録が1例だけある。



1. 老齢幼虫, 1988/7/23. 美唄市, エゾマツ.



2. 老齢幼虫, 体長20mm. 1993/6/20. 新得町, ミズナラ.



3. 雌成虫, 体長20mm. 2の幼虫を飼育.

【学名】 *Lymantria monacha*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera), ドクガ科 (Lymantriidae)

【分布】 北海道, 本州, 四国, 九州; ユーラシア.

【特徴】

ドクガ科の幼虫は腹部第6, 7各節背面中央に小突起（背腺）があることにより他科の幼虫から区別できる。

この種の特徴は背面のコブが青いこと, 背腺がオレンジ色であること, 腹部第3節と第4節後半から6節前半の背面中央が灰白色から黄白色であること, 前胸両側の刺毛が束にならないことなどである。

【生態】

宿主：ヨーロッパトウヒ, カラマツ, マツ, シラカンバ, ブナ, ミズナラ, クヌギなど。

年1世代, 卵越冬, 幼虫は5月に孵化, 7月に蛹化, 成虫は8月に出現, 樹皮下などに20~50卵を塊で産むという。北海道の低山地では若齢幼虫が6月上旬に採れ, 飼育下では7月初めに繭になり, 7月中旬に成虫になった。

発育ステージ	~3月	4	5	6	7	8	9	10	11~
卵 (越冬)	+++	+++	+..			..++	+++	+++	+++
幼虫 (摂食)			..■■■	■■■■	■■■..				
蛹					..◇◇	◇..			

成虫					…○	○○…			
----	--	--	--	--	----	-----	--	--	--

### 【被害】

ヨーロッパでは針葉樹の大害虫として知られる。国内では被害記録が1例だけ知られ、1987年北海道江別市のヨーロッパトウヒ防雪林の一部が激しい食害を受け壊滅した。

### 【文献】

1982. 井上寛ほか. 日本産蛾類大図鑑. Vol. 1: 1-968; Vol. 2: 1-556, pls 1-392. 講談社, 東京.
1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病虫害獣図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー写真).
1987. 杉敏郎, 編集. 日本産蛾類生態図鑑: 1-453, pls 1-120. 講談社, 東京.
1988. 北海道森林昆虫談話会. 昭和62年度北海道に発生した森林害虫. 北方林業, 40: 218-224. (ヨーロッパトウヒ被害記録)
1991. 小林富士雄, 滝沢幸雄, 編集. 緑化木・林木の害虫: i-vii, 1-187. 養賢堂, 東京.

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ノンネマイマイ dokuga/nonnema/  
kaisetv.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 1994/1/12-2001/12/7.

1yochu.jpg, 1seichu.jpg, yochu.jpg

「写真1～3」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 1988-1993.